

このコーナーではK-Car Meetingに、ゆかりのある方々に登場頂き、思い出話しや、今後のK-Car業界への想いや、時には裏話などを語って頂いております。

語って頂いたメッセンジャーは、次号へとバトンをつないで頂きます。その名の通り『メッセージリレー!』

記念すべき第1回目は、K-Car Meetingの元祖「K-CARスペシャルミーティング」開催立ち上げより支援頂きましたテイクオフの米田さんよりスタートしました。

今回は、第8回目です。KCテクニカの藤山さんよりバトンが渡されたのは!キャドカーズの石川さんです!

次は貴方の番かもしれません。お楽しみに!

Message Relay

第8回

KCテクニカの藤山さまよりバトンを頂きましたキャドカーズの石川です。

キャドカーズが発足したのは平成13年1月、「お客様の車に有益な工場」という意味の頭文字をとり名前をつましました。当時はレースなんてとんでもなく、整備業専門の工場で国産車から外車まで幅広くこなしている認証整備工場でした。



Kカースペシャルイベントに出る趣旨は、「社内親睦」と「技術力の向上」の為。イベントの中のカテゴリーである最も過酷な45分耐久×2のSSクラスに出場を決め、当初は3年と言う期限付きでエントリーしました。

同じ出るなら整備士として免許を有する者としてのプライドで、1番を目指そうと目標を立て自社で車両制作をし持ち込みましたが、しかし最初の2年間は

全てリタイヤ、予選すら走り切れない始末で、エンジンを組んではブローの日々、幸いK6エンジンはワゴンRなどのなエンジンをベースにターボ化して製作していたため安価で製作できたこともあり、あれこれ試してはブローを繰り返し、廃在庫はブローのエンジンの残骸だらけ、セッティングもシャシダイナモなどの設備もないので完成すれば、今では考えられない状況の中で夜中にセッティングしました。

ブローを経験するたび様々なノウハウを得たことで、自社のCR22Sとチビックの二台を、2006年にはクラス1位2位優勝!チビックに至っては2007年に総合優勝し、一旦はキャドカーズとしての当社のプロジェクトは幕を閉じました。

次のプロジェクトはNAの安価で遊べる企画を提案。

NA660選手権と名づけレギュレーションを作りスタート。

我々は、お家芸とも言えるスズキから離れ、次はダイハツミラL250をベースにEF-VEを換装しNA660選手権を5年間、次なる

耐久企画ステージへと進み、車も一新し全塗装を施工。白ヤギから黒ヤギに色変えし、鈴鹿ツインサーキット耐久、スパ西浦耐久にてシリーズ獲得!翌年は富士スピードウェイのK4GPに参戦し3戦目にしてクラス5位に。しかしそこからが苦難の連続でした。順位を上げるべくハードチューニングをすればするほど完走率は下がる一方で、クラッシュでミラを無くし10年のミラレース人生に終止符を打ちました。



今では軽自動車全般は勿論、HA36アルトワークスと言う20年ぶりのアルトワークスをチューニングし、業者専門の認証整備工のキャドカーズから皆さんにご最良されるモータース屋キャドカーズに変わりました。ひとえに車の医者、整備士としてスタートし20年と言うキャドカーズの歴史の中で一般整備業は勿論、軽自動車のモディファイ文化、レース文化は我々にとって切ってもきれない存在となっています。これからも一般整備を含め、車の中で一番身近な存在

の軽自動車の楽しさを、もっと沢山の人が知って頂く為にも布教活動を続けていきたいと自負している所存です。次回は、ハーテリーの四方さんにバトンをお渡し致します!宜しくお願いします。